

行政改革の取り組み実績をお知らせします

● 問合せ先 企画政策課行財政改革推進室 (☎☎2124)

市は、『第5次市行政改革大綱』（計画期間：平成23年度～27年度）と同実施計画に基づき、『職員意識と職場風土の変革』を基本理念に、『職員の意識改革』、『成果を重視した行政経営システムの確立』、『健全な財政運営の確立』の3つの視点から行政改革に取り組んできました。その実績の概要をお知らせします。

1. 成果指標の達成状況

55項目の成果指標（※）のうち、**36項目**で目標を達成 ⇒ 達成率：**65.5%**

（※）第5次市行政改革大綱の3つの視点の下には、個別の『推進方策』を掲げています。さらに実施計画において、推進方策に対する具体的な取り組みの内容を定めた『取組事項』、達成すべき状態または数値目標である『成果指標』を定めています。

【各視点における推進方策・取組事項・成果指標の内訳】

- 視点1：職員の意識改革…推進方策3項目・取組事項10項目・成果指標10項目
- 視点2：成果を重視した行政経営システムの確立…推進方策2項目・取組事項4項目・成果指標4項目
- 視点3：健全な財政運営の確立…推進方策4項目・取組事項29項目・成果指標41項目



2. 視点ごとの達成状況



視点1：職員の意識改革

市民のニーズに的確に対応した行政サービスを提供し、市民満足度の向上を図るため、職員の意識改革や職場の改善に取り組みました。

推進方策	計画期間の最終（平成27年度）目標	平成27年度実績
コスト意識の徹底	時間外勤務時間（年間）を縮減した割合 前年度比5.0%縮減	前年度比1.5%縮減
改革・改善の職場風土づくり	改革、改善に取り組んでいる職場であると思う職員の割合 80.0%以上	65.5%
人材育成の体制強化	職員の対応に満足している市民の割合 80.0%以上	64.1%

具体的な取り組みの例（10項目中）

◆時間外勤務時間の縮減

係ごとに時間外勤務時間の縮減目標を設定したほか、『ノ一残業デー』（水・金曜日）、『時差出勤制度』（夜間の会議開催日などに出勤時間を遅らせる制度）を推進し、縮減に努めました。

【成果指標】職員1人当たりの時間外勤務時間数（年間）

【平成27年度目標】前年度実績の5.0%縮減 → 【実績】1.5%縮減

◆窓口対応の改善

市役所1階の窓口担当部署において、『さわやか対応推進週間』（年4回）に合わせ、『窓口アンケート調査』を実施し、意見や要望を踏まえた対応の改善に取り組みました。

【成果指標】窓口アンケート調査で、職員の対応に『満足』または『やや満足』と回答した割合（合計）

【平成27年度目標】90.0% → 【実績】96.0%

◆各種研修会の開催

市主催の研修会を開催したほか、外部の研修会への参加機会を増やし、職員の能力開発・向上に努めました。

【成果指標】研修会への参加者数（延べ人数）

【平成27年度目標】1,200人 → 【実績】975人



視点2：成果を重視した行政経営システムの確立

行政評価の客観性を確保するとともに、評価制度の向上を図るため、行政評価委員会による第三者評価を実施しました。また、経営戦略会議を開催し、必要性や緊急性などを考慮しながら事業の採択について検討しました。

推進方策	計画期間の最終（平成27年度）目標	平成27年度実績
政策形成プロセスの再構築	行政評価結果を予算編成に反映させた事務事業の割合（政策的事業） 100.0%	100.0%

具体的な取り組みの例（4項目中）

◆市民アンケート調査の実施

市の施策に対する市民の満足度やニーズを把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果を行政評価の成果指標や第5次市総合計画後期基本計画の策定資料として活用しました。

【成果指標】市民アンケート調査の回収率

【平成27年度目標】40.0% → 【実績】46.0%



視点3：健全な財政運営の確立

最小の経費で最大の効果を上げる行政運営をめざして、市税などの収納率向上による自主財源の確保に取り組みました。また、職員の適正な配置を行い、職員数の削減に努めました。

推進方策	計画期間の最終（平成27年度）目標	平成27年度実績	
自主財源の確保	市税の収納率（現年度）	98.8%以上	98.9%
	自主財源比率	45.5%以上	39.6%
健全な財政基盤の確立	実質公債費比率	22.2%以下	16.3%
	経常収支比率	96.6%以下	90.9%
定員管理の適正化	職員数	555人以下	464人 (平成27年4月1日現在)
アウトソーシング（外部委託、民営化など）の導入	導入の可否について方針を決定した事業数	100.0%	55.0%
	導入方針を決定した事業のうち、アウトソーシングを実施した事業数	100.0%	0.0%

具体的な取り組みの例（29項目中）

◆市税の収納率の向上

市税滞納者に対する集中的な電話催告を実施するとともに、差し押さえなどの強制徴収を積極的に実施しました。また、ファイナンシャルプランナーによる生活再建支援に取り組み、税負担の公平性の確保に努めました。

【成果指標】市税の収納率（現年度）

【平成27年度目標】98.8% → 【実績】98.9%

◆立花台地第2期開発地区分譲地の販売促進

広報紙やホームページ、ケーブルテレビを活用し、分譲地の販売促進に努めました。

【成果指標】年間販売区画数

【平成27年度目標】5区画 → 【実績】8区画

◆定員適正化計画の推進

退職者の不補充や、組織機構の見直しによる部局間の柔軟かつ適正な人員配置に努め、職員数の削減に努めました。

【成果指標】職員削減数（前年比）

【平成27年度目標】4人 → 【実績】4人

◆学校給食センターの業務委託の検討

全国的な実施状況を参考に、職員体制やコスト面などによるメリット・デメリットを総合的に検討し、調理部門の業務委託について方針決定しました。

【成果指標】業務委託導入の是非についての方針決定

【平成27年度目標】方針決定 → 【実績】業務委託導入の方針決定

パブリックコメント (市民意見提出手続制度)

『第10次伊万里市交通安全計画』(案)の

策定について

より多くの市民の意見を参考にするため、パブリックコメントを実施します。皆さんの意見をお寄せください。

伊万里市交通安全計画は、市民の生命、身体および財産を保護し、市民が安心して生活できる交通社会の実現を図るため、取り組むべき交通安全に関する施策の大綱を定めるものです。

市では、これまで9期に渡る計画を策定し、交通事故のない社会をめざしてさまざまな施策を展開してきました。今回、第9次計画の計画期間が平成27年度で終了したことから、新たに28年度から32年度までの5年間を期間とする計画を策定します。

パブリックコメント案内

- ◆意見提出をお願いする資料
『第10次伊万里市交通安全計画』(案)
- ◆意見募集期間
10月1日(土)～25日(火)
- ◆案の公表先・入手先
(1)総務課または情報広報課市民サービス係
(2)各町公民館または市民図書館
(3)市ホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>
- ◆意見の提出方法
意見は、住所・氏名(または団体名)を明記のうえ、次のいずれかの方法により提出してください。
- ①メール soumu@city.imari.lg.jp
- ②郵便 〒848-8501
伊万里市立花町1355番地1
伊万里市役所総務課 あて
- ③直接提出 案の公表先・入手先(1)または(2)
- ④ファックス ㊟7213
- ◆問合せ 総務課行政係 (☎㊟2123)

浄化槽は定期的に維持管理を

● 申込・問合せ 下水道課業務係 (☎㊟2395)

10月1日は浄化槽の日です。浄化槽は、生活排水をきれいにしてくれますが、使い方を誤ると水質の汚濁など、生活環境を悪化させる原因にもなります。正しい使用方法を心がけ、適正な維持管理を行ってください。

- ①保守点検
専門知識が必要ですので、県の登録業者に委託してください。
- ②清掃(年1回以上)
清掃とは、浄化槽の槽内にたまった汚泥を抜き取ることで、市の許可業者に委託してください。
- ▷保守点検(県登録業者)と清掃(市許可業者)を行う事業所
株式会社あくあくぐりーん (☎㊟4738)
株式会社カンセイ (☎㊟6138)
- ▷保守点検(県登録業者)のみを行う事業所
エコ・サイエンス株式会社 (☎㊟2677)
株式会社翼コンサルタント (☎㊟3038)
- ③法定検査(年1回)
保守点検や清掃がきちんと行われ、浄化槽が正しく機能しているか、一般財団法人佐賀県環境科学検査協会(指定検査機関)の検査を受けてください。
※浄化槽を廃止するときは、届け出が必要です。
伊万里保健福祉事務所環境保全課 (☎㊟2103)に確認してください。
- ◆日常の使用では次のことを注意してください
▷便器の清掃時は、微生物に影響を与える薬剤を使わない。
▷トイレにトイレットペーパー以外の異物を流さない。
▷台所から野菜くずや油を流さない。
▷浄化槽の電源は切らない。
▷マンホールの上に物を置かず、ふたはきちんと閉じておく。

【これから住宅に浄化槽を設置する皆さんへ】

市は、公共下水道および農業集落排水の処理区域外に浄化槽を設置しようとする人に補助を行っています。補助金申請は先着順です。なお、予算には限りがありますので、事前に受け付け状況などを下水道課に確認してください。

放置自転車を一時保管してしまおう

市では、伊万里駅などの周辺の景観を維持するとともに、歩行者などの安全な通行を確保するため、放置自転車の調査および撤去を行っています。5月から6月にかけて、伊万里駅駐輪場と川東駅駐輪場を調査し、放置されている可能性が高い自転車を市で一時保管しています。心当たりがある人は、保管期日までに連絡してください。なお、連絡がない場合は、市で廃棄処分します。

- 保管期日 10月31日(月)
- 保管場所 市役所
- 問合せ 伊万里駅駐輪場
企業誘致・商工振興課商工振興係 (☎㊟2184)
- ▽川東駅駐輪場
まちづくり課公共交通対策係 (☎㊟2114)



↑市役所で保管している放置自転車

救急優良事業所認定証交付式

地域の安全・安心は

地元事業所の協力があってこそ

9月9日、伊万里・有田消防本部で、救急優良事業所認定証交付式があり、伊万里・有田地区の4事業所が新たに認定されました。これは、AED（自動体外式除細動器）を設置し、適切な応急手当ができることなど、一定の要件を満たした事業所を消防長が認定する制度で、今回を含め23事業所あります。

人命救助は、消防機関への迅速な通報や救急隊が到着す

るまでの適切な応急処置などの初期対応が重要です。地域の安全・安心を担う身近な事業所としての役割が期待されます。

◆今回認定された事業所

▽伊万里市農業協同組合（立花町）

▽スポーツクラブGENEX 有田（有田町）

▽福北興業株式会社ファイน์ロッキーマ（有田町）

▽株式会社SUMCO九州事業所（東山代町）



↑新たに認定証の交付を受けた救急優良事業所の皆さん

市長雑感

伊万里市長 塚部芳和

みなと祭り

『みなと』という響きにはなんとなく引かれるものがあります。

漁船や貨物輸送船、客船が行き交い、ヨットやプレジャーボートが係留される

など、港にはさまざまな形態と情景があります。北島三郎や石原裕次郎に代表されるように、港をテーマにした

歌謡曲が数多くあり、それだけ港には日本人の心を支え続け、引きつける魅力があるのだと思います。

伊万里は、江戸時代には肥前一帯で作られた焼き物が、明治から昭和半ばごろにかけては石炭などが積み出される物流拠点として隆盛を誇った港町でした。

現在、伊万里港には世界に向け急成長を遂げる国際コンテナ港が黒川町にある一方で、波多津町には漁港も存在しています。

かつては、数多くの漁港がありました。大規模な

臨海工業地帯やふ頭の整備などの影響により、次第に姿を消していきました。今では波多津漁港が市内唯一の漁港となり、タイ、ハマチ、車エビ、カキなどの養殖を中心とした漁業が営まれています。

その波多津町では、平成7年に漁港整備事業の竣工を記念して地元有志が立ち上がり花火大会が開催されて以来、みなと祭りが毎年開催されています。新鮮な魚介類のバーベキューや、クルージング、櫓漕ぎ競争など、漁港ならではの体験型のイベントなどが盛りだくさんです。特にフィナーレを飾る海上花火は見事で、回を重ねるごとに来訪者が増え、市内唯一の港のイベントとして人気を博しています。

潮の香りと魚が焼ける香ばしいにおいが会場一帯に漂う波多津みなと祭りは、今年10月2日（日）に開催されます。さあ、皆さん出かけてみましょう。

福岡都市圏で

『伊万里フェア』を開催します

福岡市のホテルで『伊万里フェア』を開催します。フェア期間中は、伊万里産食材を中心としたフェア限定メニューを伊万里焼の器で楽しめるほか、会場に展示された伊万里焼の絵皿やつぼなどを鑑賞することができます。

●期間

10月1日（土）～12月31日（土）

●場所

A N Aクラウンプラザホテル福岡
（福岡市博多区博多駅前3-3-3）

●問合せ先

観光課伊万里ブランド係（☎☎2110）



↑フェアで提供される料理のイメージ